

防犯対策！

今月の防犯心得「1人暮らしを悟られない工夫」

1人暮らしは快適で、誰にも気兼ねなくマイペースの生活が過ごせます。その反面防犯上では女性やお年寄りはどうしても立場が弱いため、狙われやすく犯罪の被害を受ける確立が高くなります。従って、住まいの周囲に1人暮らしを悟られない工夫が是非必要になります。生活における小さな心がけが大切です。

- ①表札は女性の名前にしないで男名にする。せっかく性だけしか書いていない場合も、かわいらしいネームプレートなどは、女性だと気付かれてしまいます。
- ②カーテンは遮光性のもで、夜間に部屋内が見えないようにする。
何気なく窓やカーテンを開けていませんか？それが夜になり灯かりをつけていると中からは見えませんが、外からはよ〜く見えるということを忘れないで！
また、カーテンは一見して女性とイメージされる色・柄は避ける。
- ③洗濯物を見て、女性の1人暮らしなのか、男性と一緒に住んでいるのかなどが分かります。昔から言われる手ですが、男性物の下着を一緒に干す、玄関に男性物の靴を置く。というのは今でも有効な防犯手段のひとつです。
- ④盗撮用のグッズなど使うとドアの覗き穴から簡単に家の中が丸見えになってしまうのです。ノゾキ防止に、内側に目隠しグッズを吊り下げ、必要な時にだけ外すようにしましょう。ドアポストも外から中が覗けないか確認しましょう。
- ⑤玄関のカギを開け閉めする前に、周りに不審者がいないか確認する。又、チャイムを鳴らして「ただいま」と言って入るなど、同居人がいるとカモフラージュすることが効果的。
- ⑥売り込み電話、間違い電話のとき、絶対に1人暮らしを明かさない。
- ⑦個人名、携帯電話の番号など個人情報がわかる書類は、細かく破いて捨てる。
- ⑧宅配業者を名乗っても、必ず誰からの荷物か確認し、ドアチェーンは外さずに対応する。大きな荷物はドア前に置いていってもらっても、よいでしょう。



笑いのコーナー ～健康のために笑いましょう～ きみまろ劇場より 綾小路きみまろ著

■中高年の副作用

長年生きておられますと、身体のおちこちに故障が出てきます。更年期の兆しが見え隠れ、あっちがしびれ、こっちがしびれ、若いときのしびれとは種類が違います。抜いていた白髪を染め始め、流す涙は真横に流れ、化粧してるのに化粧しろと言われ、ヨイショと言わないと立てない、ヨッコラショと言わないと座れない。

艶のない上半身、用のない下半身、尿の検査とおしっこだけ。かわいそうです。でも、それが生きてきた証です。度忘れ、物忘れは日常茶飯事、言ったことは忘れ、言おうとしたことまで忘れ、忘れたことも忘れました。挨拶を交わしたあとに、あの人は誰だっけ？ いま、私何をしにこの部屋に？長電話で用件まで忘れ。

この間も、知人の男性が冷蔵庫を開けて、何をだすのか分からなくなったそうです。どう考えても思い出せないんです。結局、足でドアを開けてそのままトイレに入って、トイレの中で思い出したんだそうです。「あっ、ソーセイジを出すんだった！」

何かをきっかけに思い出す、何かをきっかけに忘れる、これは立派な中高年の副作用です。この間なんか自転車で買って牛乳を買いに行き、帰りに自転車を忘れた人がいます。もっとひどいことに、手紙をだしに行き、途中で買ったてんぷらをポストに入れた人がいます。

でも、心配することはありません。みんなに表れる立派な副作用ですから。がんばっていただきたいんですよ、この大変な時代のなかで。